

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7(2025)年度 第2回みよし市社会教育委員会		
開催日時	令和8(2026)年3月3日(火) 午後1時30分から午後3時20分まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ「サンライズ」2階 多目的室		
出席者	委員長 今瀬 良江 副委員長 近藤 憲司 委員 野口 尚子、大地 由美子、中村 有里、大村 恵、岡本 清則、勝野 啓哉、 横本 祥平、堀本 さなえ(計10人) 市側 増岡教育長、竹山教育部参事、鈴木教育部副参事、岡田教育部次長兼学校教育課長、木野スポーツ課副主幹、塚本歴史民俗資料館館長、橋本生涯学習推進課長、松田生涯学習推進課主任主査(計8人) 出席者：18人 傍聴者：0人 欠席者：0人		
次回開催予定日	令和8(2026)年7月		
問合せ先	みよし市教育委員会生涯学習推進課 担当者名 松田 電話番号 0561-34-3111 ファックス番号 0561-34-3114 メールアドレス gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	協議・報告事項 1 協議事項 (1) 令和7(2025)年度社会教育委員活動報告について (2) 令和7(2025)年度社会教育・生涯学習活動報告について ① 学校教育課 ② スポーツ課 ③ 生涯学習推進課 ④ 歴史民俗資料館		

<p>司会（松田）</p>	<p>< 開 会 > 定刻になりましたので、本年度、第2回目の社会教育委員会を開催します。 はじめに、礼の交換をおこないます。 皆様、ご起立をお願いします。 「一同礼」 ご着席ください。 ありがとうございました。</p> <p>本日の会議、岡本委員からは所用により少し遅れて参加しますとの連絡をいただいております。また、増岡教育長は、先日行われたミラノコルティナ2026冬季オリンピックのノーボードスロープスタイル女子に出場された深田真理選手の金メダル獲得報告会がちょうど同刻より市役所で開催されているため、こちらの方には報告会が終わり次第、参加されるとのことです。 それでは、会議を進めさせていただきます。 なお、本会議は「公開」とさせていただいておりますので、ご承知おきください。 本日傍聴人はございません。参加者は1人遅れてきますが、ただいま9名いますので開催いたします。</p> <p>それでは、はじめに、会議に先立ちまして、今瀬委員長にあいさつをお願いします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>【今瀬委員長あいさつ】</p>
<p>司会（松田）</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>それでは、ここからは、条例第6条第3項の規定により、委員会の取り回しを今瀬委員長にお願いいたします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>それでは、会議の進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。 次第に沿って会議を進めます。 はじめに、次第2（1）令和7年度社会教育委員活動報告について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>生涯学習推進課よりご説明いたします。 令和7年度社会教育委員活動について、3ページ、資料No.1をご覧ください。 表のNo.1 令和7年4月11日の愛知県社会教育委員連絡協議会西三河支部理事会について、今瀬委員長が愛知県社会教育連絡協議会の監事も務めていただいておりますので、岡崎市にある愛知県西三河総合庁舎で開催されました理事会に、ご出席いただきました。なお、No.2、7、9、12についても、今瀬委員長にご出席いただいております。</p> <p>No.3は安城市にて、愛知県社会教育委員連絡協議会評議員会並びに総会が開催されましたので、今瀬委員長と近藤副委員長、野口委員、大村委員にご出席いただきました。 No.4は刈谷市にて、愛知県社会教育委員連絡協議会西三河支部総会・第1回地区研修会が開催されましたので、今瀬委員長、近藤副委員長、野口委員、大地委員にご出席いただきました。なお、No.6、10、11についても、今の4名の方にご出席いただきました。</p> <p>No.5につきましては、サンライブにおいて第1回みよし市社会教育委員会を開催し、今瀬委員長をはじめとした全委員10名にご出席いただきました。</p> <p>No.8について、今年度は東海北陸大会が岐阜県瑞穂市で開催されましたので、今瀬委員長、近藤副委員長、野口委員、大地委員の4名にご出席いただきました。</p> <p>最後にNo.13、本日の第2回みよし市社会教育委員会となりまして、10名全員にご出席いただいております。 以上、簡単ですが令和7年度の活動報告とさせていただきます</p>

今瀬委員長	<p>ありがとうございました。 ただいまの事務局の説明についてご意見ご質問等ありますでしょうか。 よろしいでしょうか。では次に行きたいと思います。</p> <p>続きまして、次第2協議事項(2) 令和7年度社会教育生涯学習活動報告について、事務局より説明をお願いいたします。 はじめに学校教育課、学校教育課長の説明が終わりましたら、そこでいったん止めて質疑応答、ご意見をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
学校教育課長	<p>はい。それでは学校教育課長の岡田でございます。よろしくをお願いします。資料の5ページをお願いいたします。まず家庭教育学級の方から説明をさせていただきます。 家庭教育力の向上を目的に小学校単位で事業を実施しておるところでございます。令和7年度につきましては、市内の6つの小学校でご覧の内容の事業を、各学校で実施をしていただいたところでございます。事業の課題評価のところにおいていただいたご意見を掲載させていただいておりますが、内容によってよりよいご意見もちょうだいしているところがございますが、毎年ある内容かとは思いますがPTAの役員の負担や、講師料の金額などの問題で、講師を見つけることが難しいなど、ご意見もいただいております。</p> <p>続いて6ページをお願いいたします。こちらは中学校の方で開催しております思春期家庭教育学校でございます。こちらにつきましても7年度につきましては市内3つの中学校でご覧のような講座を開催していただきました。こちらにつきましても開催中学校からは概ねご意見をいただいているところではございますが、北中学校などではPTAの加入人数の減少によりまして、なかなか開催するのが難しいなどのご意見も聞いております。こちらの事業につきましても、新しい教育振興基本計画におきまして、家庭教育に関する学びの場の提供として、中でも家庭教育に関する学習機会の充実を重点施策として位置付けておるところでございます。計画におきましては、保育教育の推進を図ることとして、対象を学校の保護者だけでなく、未就学の保護者や、地域の関係者へ拡大することにも取り組むとしております。今後ですねこの計画を進めていく中で、現在のこの家庭教育学級と思春期家庭教育学級でございますがこちらの開催内容などにつきましても、見直しを図りまして、現在のような学校単位というものではなく、もう少し開催の方法について、また開催内容についても見直しを図って参りたいというふうにご考えております。説明は以上です。</p>
今瀬教育長	<p>ありがとうございました。ただ今の学校教育課の説明に対して、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。</p>
大村委員	<p>よろしいでしょうか。家庭教育学級の開催について、PTAの負担が大きいのということですが、これはPTAでないと開催ができないのでしょうか。つまり、他の家庭教育学級の開催をやりたいという有志を募る、或いはそのコミュニティスクール、地域学校協働本部の主催ということも考えられると思うのですが、これはPTAでないといけないという縛りがあるのですか。</p>
学校教育課長	<p>今は特に縛りがあるわけではないのですが、学校の方でそれぞれ企画して参加していただく方を集めていただく際、PTAの方々と協力してやっていただいているので、学校の方、PTAの方々には、参加者を集めていただくというようなやり方をやっているところで、PTAの方々に負担がかかっているというようなご意見が多いのかなというふうに思います。おっしゃられたように、現在、地域の共同活動が各校においても開催、それぞれ設置されて進めているところがございますので、今後はそういったところでの開催も視野に入れて検討していきたいと考えております。</p>
今瀬委員長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>では、私からですが、多分学校は、この家庭教育学級はPTAがやるものという認識なので、なかなか広げられなかったのだと思います。今、言われたように、縛りはないということでしたら、そういうことはまず学校に、どういうことでもいい、どういうところが主体になってもいいということ伝えて。家庭教育に関することであれば、予算が多分つきますよね、来年度、まだ議会中ですけど、要望してありますよね。だから、その有効的な使い方についてももう少し説明を具体的にされると、何だ、それこそ有志でもいいのかとか地域学校でもいいのかとかいうふうになってくると、ちょっともう少</p>

	<p>し広がってくるのかなっていう気もいたします。先ほど学校教育課長から、うれしいことに、各家庭教育の充実を次期振興基本計画で盛り込んでいると説明がありました。本当にみんなで育てようという「共育」のところですね、教育で。それが、この辺の予算と合体して行って、地域の人も、一緒に行ったおじいちゃんおばあちゃんもお父さんお母さんも同じように子育てについて家庭の悩みについて同じ話を聞くと、同じ思いを持って子ども達を見守ることもできるかなと思います。その辺は本当に、各学校、各地域で工夫して、学校ごとじゃなく地域ごとでも良いし、市全体でも良いので、もっと柔軟に考えて、「共育」教育を進められるようなことが、来年度進むといいかなと思っています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>そうですね、小学校で触れ合いトライアングルをやっているのですが、その辺りは地域の方々と共同の活動のところに、市の方が補助させていただくという制度もあるので、その辺のところも併せてですね、こちらの方のお金の出し方も、もう少し検討して、皆さんが使っていただきやすいように変えていけないかと思えます。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>予算の有効活用が大事だと思います。大地委員どうぞ。</p>
<p>大地委員</p>	<p>新しい教育計画の中のことで、やっぱり家庭教育に力を入れていくというときに、やっぱり足がかりになるのはこういう会かなっていうふうに思います。ここを充実させるっていうことをすごく大事だっことを私は思っています。アンケート、ここに参加者に行ったアンケートとありますが、どのようなアンケートで何を知りたいか、今回やったのでそれについてのアンケートであるのか、本当に保護者の方々がどんなことを知りたがっているのか、どんなことを学びたがっているのかっていうのを知るアンケートとかがあると、それを見て次の回を考えることができるかなと思いますので、そのあたりのアンケートのとり方とか広報の仕方とか、そこはやっぱり工夫できるところかなと思います。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。本当に良い意見がたくさん出ますので、ぜひ、もう4月から、お金はつく予定なので、それをどう活用するかをうまく広げていただけたらと思います。もう学校教育についてはよろしいでしょうか。では次にスポーツ課についてよろしくお願ひします。</p>
<p>スポーツ課副主幹</p>	<p>スポーツ課の副主幹の木野と申します。よろしくお願ひします。本来であればスポーツ課長がご説明するところですが深田選手の報告会に出席しておりますので、代わりに私からご説明させていただきます。資料7ページ、生涯学習活動ということでスポーツ課につきましては、ライフステージに応じたスポーツ習慣の確立及び市民の体力づくり、健康づくりを推進ということで、各種事業を行っております。7ページ、番号1から見ていただきます。大きく分けまして4つのカテゴリーに分かれてきます。まず1から3、こちらにつきましては、みよし市スポーツ推進委員並びにスポーツ課が主催となりまして、市民のスポーツをするっていう場を提供しております。カローリングの体験会や試合、ボッチャカローリングのレクリエーションスポーツをきっかけとしたスポーツの振興、またマラソン大会を開催しております。特に2番目のレクリエーションスポーツフェスタにつきましては今年新たにeスポーツをこちら導入させていただきました。近年、スポーツ活動の考え方の幅が広がっております。スポーツ課の方でも今後、スポーツということを1つのスポーツの推進の中に位置付けていきたいと思っておりますので、レクリエーションスポーツフェスタの方で体験かということで、市民の方にお披露目する場を提供させていただきました。続きまして、4番から資料8ページの8番まで、こちらは一般社団法人みよし市カヌー協会が中心となりまして、みよしの地域性を生かしたカヌーの振興ということで教室を開催しております。こちらにつきましては、参加者、それぞれ各日5名で募集をしておりますが、この中で初心者の方、彼カヌーに初めて触れる方、そういう方たちにこちらの方で体験いただきまして、この後、みよし市のカヌー協会の正式な会員になってカヌーを続けていただいているお子さんも中にはお見えになります。こちらにつきましても、みよし市カヌー協会と協力をしながら、みよしの地域の得意特性を生かした、水辺のスポーツの推進に努めております。続きまして9番10番、こちらはみよし市スポーツ協会が指導者向けに開催をしており</p>

	<p>ます指導者養成講習会なります。こちらにつきましては、昨今、みよし市でも検討しておりますが、部活動の地域展開、こういうものも見据えまして、指導者育成をスポーツ協会と一緒にっております。</p> <p>続きまして11から13、こちらが総合型の地域スポーツクラブ、こちらが各地域の特異性、地域の力をそれぞれ持ち寄りながら総合型地域スポーツクラブで様々な年代様々な種目を展開しております。こちらは文化系の活動も中にはあります。そういうものも含めまして、地域の繋がりを、こういうスポーツ文化的なものを基軸として作っていくということで、それぞれ市民の方たちの力をいただきながら展開をしております。</p> <p>スポーツ課におきましては、このような事業を含めまして、いろんな方が市では対応できない部分につきましては、スポーツ推進団体のお力をお借りしながら、協働連携しながら、スポーツの振興に努めております。説明は以上となります。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。スポーツ課の報告につきまして、ご質問とかご意見ございましたらお願いします。</p> <p>すいません、また私から。なかよしスポーツクラブに入れていただいて、毎週1回ヨガとか行きますと、地域の皆さんが公民館に集まって、本当にご夫婦とか高齢者の方とかちょっと若い方とかいっぱいになって楽しんでいきますので、スポーツクラブの役割って大きいなっていうことを肌で感じております。これも予算面ですが、今まで通り今までの補助とか、予算はいかがでしょうか。</p>
<p>スポーツ課副主幹</p>	<p>はい。ありがとうございます。今瀬委員長にもご参加いただいてありがとうございます。</p> <p>はい。さんさんスポーツクラブ、それから、なかよしクラブ、ともいきスポーツクラブ市内3クラブでございます。こちらにつきましては事業費を市の方で一部補助をさせていただくということで、毎年200万円を上限としまして、補助金の交付をさせていただいております。こちらにつきましては、次年度につきましてはまだ確定ではありませんが、継続をさせていただきたいと思っております。またですね、これら3クラブにつきましては、指導者の確保であったり、会場の確保であったりが必要になってきます。この辺りにつきましては今の補助金の金銭面の補助とあわせまして、会場の確保につきましては、市の公共施設を優先的に使えるように、会場の先行予約を行い、年間通して会場の確保にご協力をさせていただいております。また指導者の確保につきましても、それぞれスポーツ協会の各講習会に参加いただいたり、あとは市が持っている情報等を共有いただいたりしながら、指導者が多様な種目展開できるように、こちらもご支援をさせていただきます。はい。以上です。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>私からもう1点すみません。</p> <p>部活動の地域移行についてスポーツ協会とか連盟さんとの協力体制っていうのは、ある程度進んで見えるのか、その辺は学校教育にお任せなのか、どうでしょうか。</p>
<p>教育部副参事</p>	<p>はい、教育部副参事です。地域展開の方ですけども、今、令和8年度4月から土曜日曜日祝日の活動について、地域の方に展開していこうということで準備を進めておまして、その指導者の確保というところが一番大きな懸案事項ではあるんですけども、今のところ、完全ではないんですけどある程度は地域の方でやっていただける方が確保できていますので、その中で、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブの方にも、指導者としてご協力いただきたいということで呼びかけをしていて、今、一部サッカーですとか、さんさんスポーツクラブの方からちょっと、さんさんスポーツクラブの活動と重ならないようなところであれば、ある程度協力してくれる方はいるよということで動いているところであります。ただしまだ十分という状態ではないので、引き続き、来年度、人事異動もあって進められることがあると思うので、またどのあたりがもうちょっと欲しいかっていうところを確認しながら引き続き市教委としても、募集の方を呼びかけていこうと協力をお願いしていこうというところなんです。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>はい、本当に指導者が集まるといいですね。</p> <p>では、スポーツ課に関してはよろしいでしょうか。それでは生涯学習推進課、お願いします。</p>
<p>生涯学習推進課長</p>	<p>はい、生涯学習推進課長の橋本です。</p> <p>9ページ、10ページをご覧ください。文化事業委託事業です。日頃から文化芸術活動に取り組んでいる団体や個人の皆さんの成果を発表する機会として、勤労文化会館で文</p>

	<p>化展や文化祭、市民茶会等を開催しました。作品展示や芸能発表を通じて、市民や近隣市町の皆さんに文化芸術活動への関心を高め、本市の文化芸術活動の様子を知ってもらうことができました。</p> <p>11ページ、12ページをご覧ください。読書啓発事業です。読書を通じて、文化教養を高め感性を養うことを目的に講座等を開催しました。特徴的なものとして、1番「伊勢型紙と和紙で作った影絵紙芝居」や2番の前のNHK大河ドラマの主人公「蔦屋重三郎」をテーマにした講座では、多くの皆さんに興味を持ってもらえました。また、石川家住宅でのお話し会や長寿介護課と共催した終活をテーマにした特集展示と映画上映会など、図書館だけでなく他の部署と連携した取り組みも展開しています。</p> <p>13ページ、14ページをご覧ください。勤労文化会館等維持管理事業です。この事業は、勤労文化会館の指定管理者が開催する文化振興を図る自主事業となります。10番の人間国宝「坂東玉三郎」による大型イベントだけでなく、季節ごとのフェスタやロビーコンサート、ふるさと会館を使ったコンサートなど、気軽に参加できるイベントも開催し、多くの皆さんに楽しみながら文化芸術に触れていただきました。</p> <p>なお、4月から指定管理者が変更となりますので、ご承知おきください。新たな指定管理者による新たなイベント等の開催も期待されますので、よろしく願いいたします。</p> <p>15ページをご覧ください。すいません、1点訂正で申し訳ございません。芸術文化合唱推進事業となっておりますが、令和7年度から芸術文化音楽交流事業となっておりますので、すいませんが合唱のところを音楽に変えていただければと思います。申し訳ございません。芸術文化音楽交流事業です。今までの市民合唱交流会に、楽器演奏を加えた音楽祭を令和6年度から開催し、12月に2回目となる「みよし音楽祭」を開催しました。大ホール、小ホール、ロビーを演奏会場とし、市民広場にマルシェ等を設置するなど、一日を通して楽しめるものとなりました。出演者や来場者数も増え、カネヨシプレイス全体が音楽に包まれた一日となりました。</p> <p>16ページ、17ページをご覧ください。サンライブまつりです。こちらも日付がありませんでしたが、7月26日(土)に行いました。この事業は、生涯学習活動や図書館活動を体験してもらうことで、市民の生涯学習と文化活動の拠点施設として、サンライブの一層の利用促進を図ることを目的としています。どの会場も盛況で、親子連れを中心に多くの皆さんに楽しんでいただき、「サンライブに始めて来た」という方も多くおられました。</p> <p>18ページをご覧ください。みよし悠学カレッジ講座運営事業です。47ページまでが、生涯学習講座の報告書となります。この事業は、市民が生涯に渡って学ぶ機会を提供し、生涯学習を通じて参加者同士の交流を図るものです。講座の開催に当たっては、人気のある講座を継続しつつ、新たな講座も積極的に取り入れるようにしています。例えば親子で参加できる料理講座や部活動の地域展開の受け皿として開催できる講座、対話型A Iについて学ぶ講座、多様な言語に対応した講座など、ニーズを把握しながら子どもから大人まで参加しやすい講座を念頭に置いて企画しています。講座を受講された方は年代別で60代26.5%、50代25.1%と、この世代だけで過半数を超えています。地区別では、おかよし地区が44.7%と最も多く、次いでなかよし地区27.0%、きたよし地区11.8%、みなよし地区8.4%、市外8.1%となっています。</p> <p>なお、本年度の新春講座からは、令和7年10月にオープンした「みなよし交流センター」でも生涯学習講座を開催しており、より身近な場所で学ぶことができるようにまいります。</p> <p>簡単ですが以上で説明とさせていただきます。</p>
今瀬委員長	はい。生涯学習関係について質問或いはご意見ございましたらお願いいたします。
岡本委員	カネヨシプレイスの指定管理者が変更になると前から聞いていたのですが、具体的にどう決まっていますか。
生涯学習推進課長	はい。すでに決まっておりますが、ホームページや広報等でもお知らせをさせていただいているのですが、エリアワン株式会社というところが代表企業で、今はホームックス企業共同体というところが4社共同で入っているのですが、運営のお名前としては、みよし文化創造パートナーズということで、今回も舞台担当だとか、PR担当だとか、イベント担当だとか、あと施設を管理するエリアワンというところを代表に4社で構成された団体が運営していきますので、今ちょうど引き継ぎ作業をいろいろやっておりますのが、3月31日から1日でぱっと切り替わることも難しいかなと思いますので、4月1日はちょっと臨時休館させていただいて、円滑な引き継ぎ作業するように3者で調整しながら進めておりますので、よろしく願いいたします。

岡本委員	文化協会の行事である春の文化展や文化祭、これらを今まで通りの感覚でやらしてもらえると大変ありがたいのですけどね。
生涯学習推進課長	その辺も念頭に置いてですね、一応職員の方を引き抜くわけじゃないですけど、同じ今働いてみえる方が引き続き新しいみよし文化創造パートナーズの方で働いていただけるように話も進めておりまして、もう大分、採用の方の手続きも進んでいるみたいですので、その辺はこちらも十分配慮しながらですね、引き続き同じような形でやって、利用者の皆さんにご迷惑がかからないように考えておりますので、多少バタバタするところもあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。
今瀬委員長	新しい業者に期待ですね。 他にどうでしょうか。なければ私から3点ほど。 まず音楽祭で大変好評で、2回目でこれからどうなるかということでご意見をたくさん私個人的にも聞いているのですけども、何か今年多かったご意見とか来年度に向けてこんなことを考えているということがあったら教えていただきたいです。
生涯学習推進課長	はい。音楽祭につきましては、やって終わりということではあれですので、振り返り会ということで、12月に開催した後、今年に入ってから、出演団体に時間いただいて集まって、今後に向けた話し合い反省と、意見をいただく会を開きました。やはり市としては、お祭りみたいなもので、今回みたいなにぎやかにマルシェとかも呼んで、音楽に興味がない人にも来てもらって、音楽を楽しんでもらいたいという思いで開催したのですけど、やはり音楽をやっている方は、そういったお祭りというよりは、音楽をちゃんと発表したいという方も多く、その辺の意識の相違がありました。来年度につきましては、全く形を変えてっていうのも難しいので、あくまでもお祭り、音楽祭ですのでお祭りっていうところをベースに先ほど言いました、音楽に興味がない人でも来てもらったときに音楽を聞いて何か感じていただきたいっていうようなものにしていききたいなと思っておりますが、ここはまた来年度、参加者を募集して、意識というかの調整をしながらですね、お互いがよりよいものになるようなものにしていききたいなと思っております。まだ来年については、そういった形で流動的なところでしかお話ができないです。観客として来られた方からのご意見は大半が、楽しかった、いろんな会場でいろんな音楽が聞けて良かったという好意的なご意見がほとんどでした。ただ、聞きたい音楽がかぶっちゃったので、もうちょっと調整して欲しいみたいな意見もありましたので、1つこちらがよければこちらが悪いっていう意見がかなりあったので、その辺をどう調整していくかということが課題かなというふうに感じております。
今瀬委員長	意見を聞いて、よりよいものにして下さいね。 2点目。サンライブまつり、始まって以来、一番人が集まったかなと思うのですけど、やっぱり駐車場の問題とか、ちょっと人員整理のことでガタガタしていたので、やっぱりあれだけ人が集まったので、来年度も期待してみえると思うと、ちょっとその辺のことを事前に整理しておくと思えました。これは意見です。 あと3点目です。生涯学習講座等で、みなよし地区の参加者数の割合がちょっと低いのですけど、それも納得で、やっぱりちょっとみなよし地区は市内でも田舎で交通の便も悪いので、高齢者の方たちが自分たちで出かけるとなると、やっぱりそこら辺がちょっと、難しいかなと思う。それが、みなよし交流センターができて、そこで開催っていうことなので、もっとあちらの方にもPRしていただけるといいかなと。私、老人クラブ活動もしているけど、いろんな80歳以上の高齢者の方が杖ついて歩いてきて、体操やったり、生け花とかで創作やったりするのですね。みなよし交流館だったら、私たちも行こうかっていうことになると思うので、みなよし地区の皆さんにもちょっとアピールしていただけると、もっと参加が増えるかなと思えました。 あとはよろしいでしょうか。
大地委員	お願いします。今の生涯学習講座のところでお願いしたいです。50代60代の方がすごく50%以上という話もあって、それから新しいものをいろいろ入れてということを取り組んでみえるのでいいかなというふうに思うのですが、50代60代の方が、何を求めているのか。例えば健康について知りたいなんて私だったら思っていますね。健康についてスポーツをするのはスポーツ課の方でいろいろ取り組みがあったので、実際のスポーツは、スポーツ課だと思いますけども、例えば食について、生活習慣について、

	<p>それから睡眠について、そのあたりの健康問題ってすごくみんな関心が高く知りたいところかなっていうふうに思うので、市民のニーズっていうことを考えたときに、健康についてのあたりが広がっていくといいかなと私は感じています。1つ、前回散歩道にもあったのですが、ヨーグルト講座を市役所の方で開催されて、すごく人気だったみたいです。報告も動画で来ていましたけど、多分そのヨーグルト講座は、会社の出前授業みたいな感じで行っている講座だと思います。そういう食についてとかそういう、出前講座みたいなところをこの生涯学習のところに入れていけるものなのかどうか、今日ちょっと聞きたいなと思っていました。そういう幅広いところでやっていくと、もっとみんなの関心が高まってくるのかなということを感じています。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
生涯学習推進課長	<p>生涯学習推進課長橋本です。今おっしゃる通り生涯学習講座だけじゃなくて、みよし市としてはいろんな部署でいろんな講座に取り組んでおまして。今言われた以外でもですね、今日もたまたま健康推進課が快眠睡眠についての講座を隣でやっていますけど、あと先日、市民病院が主体でやった講座とか、あと食育推進委員会、担当が産業振興課になるのですが、そういった各種団体、各課が、それぞれがいろんな方を対象にして、そういった講座をやっていますので、会場としても、サンライブは比較的使っているかなと思っておりますので、その辺をどう展開していくか、生涯学習講座だけじゃなくて、みよし市としてとらえてどう市民の皆さんに知っていただくかというところが、すべての情報についてですけど、なかなかこうやっているけど伝わらないっていうところがもうずっと課題となっていますので、今のラインとかホームページとかっていうのをまたリニューアルして、いろいろ広報とかも頑張っ、私どもも原稿を頑張っって作成していますけど、なかなか伝わらないということが課題ですので、またそういった何かこうしたらいいっていうようなご意見があれば、いただきたいです。昨今のデジタル化の進展で、ポスターとかチラシを作るなどということで、生涯学習講座もカラーで冊子を作って配っていたのが、デジタルでPDFデータが主体になっていますので、そうすると広報も今、デジタルにだんだんできてきそうですので、伝わるのかっていうところと、デジタル化っていうところの、今、間で右往左往している状態です。やはり紙があると読むけど、メールやLINEで来ても見ないという意見もありますし、そのほうがいいという方も当然いると思っておりますけど、その辺のすみ分けをしながら、ポスターがあればやはり目につくのかなとは思っておりますけど、その紙がだめだっっていうふうに言われちゃうと、デジタルサイネージするか、それもどう見ていただけるのかどうかっていうのを今図りながら、いろんな方法を試しているような状況ですので、ちょっとお答えになっているかどうかあれですけど、一応講座としてはですね、今うちも言われたいろんなテーマを、毎回参加した方にアンケートをとっておりますので、そういった方の意見を参考にしながら講師を探して実現できるものは順次やってくっっていうような、ことで進めておりますので、今後とも、そういった情報見ていただいたら、また皆さんの方でもお知り合いの方に展開していただくと助かります。以上です。</p>
今瀬委員長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
近藤委員	<p>今の広報の仕方ですけれども、私、福谷区ですけども、年に何回かな、区の広報が出るのですね。ところが予算カットで全てデジタル化すると。でも、いきいきクラブで猛反対されました。先ほどの生涯学習講座の参加人数、50代と60代以上がほぼ半数以上とありましたが、デジタルで参加できるグループと、旧来のこの年代はペーパーの方がいいというグループ、例えば、50代以上だとデジタルよりもペーパーのイメージが強いグループなので、市がそういうふうに単純に効率化で考えると、非常に楽ですよ、もう作ってしまえばPDFで落とせばもうそれで終わりなのですけども、やっぱりそういうふうに一元化されていってしまうとこの年代がかなり、ここやばくなってくる。平均年齢がいきいきクラブは70代80代ですね。あと10年したらもう役員の受け手がないので、多分いきいきクラブは解散だよなと言っています。10年前で私が区長のときが300名を超えていたのが、今、約3分の1になって、100名ちょっとになってしまいました。で、いろいろ広報するけど、結局は伝わっていかない年代が入っているの、やっぱりその紙の媒体でもあやしい世代がデジタルになったらもうほとんど情報ゼロの年代になってしまう。それで、こういうところに参加する人がどんどん減ってしまうと思うのです。私、包括センターがやっているヨガ体操とかのグループがあって、片方は世話人をやっているのですけども、それは横の繋がりで結構参加者があって、入って来年度も登録が多分60名ぐらい、常時40名ぐらいで体操を月に3回やるんですけ</p>

	<p>ども、やっぱりペーパーで見てもこられる方がどうも多いみたいです。デジタル化っていうのは、もうちょっと予算は切りやすいけども、もうちょっと現実的な、市民が健康で文化的な、なおかつコミュニティがより活発にするっていうのは、ちょっとデジタルではいけないグループがあるのでは。参加者を見たら若い人はそんなにいない。若い方はデジタルでいいかもしれないけど、高齢者が多く参加しているから、現段階ではまだちょっと早いと思う。世界ではデジタルかもしれないけど、この年代はまだちょっとペーパーが必要、あと20年ぐらいはいるのかなという意識を持ってほしい。市役所の方はいつも全部タブレットで仕事ですけど。そういう世代でないところは、やっぱりデジタル化はまだちょっとと考えていただけると、もうちょっと参加が増えるのかなという気がしました。個人的な意見です。すいません。お願いします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>でもこれは大事ですよ。市役所はもうデジタル化で、市の職員は若い子たち当たり前でしょって言うけど、大勢、ほとんど市民はやっぱり紙で見て確認してっていう、私もデジタルで来ても打ち出すので。何のために講座を持つのって、何のために知らせるのっていう、知らせたい人たちに伝わって知らせたい人が分からないと、それはやっぱり、目的を達することができないので、やっぱり市の職員は誰に伝えたいかって、どうしたら伝わるかっていうことを常に頭に入れて、予算を切ると言われても、ちょっとこれじゃ伝わらないってこと、市全体でそれはどの部署も同じだと思うのですよね。伝えたいところに伝わるような、方法はないかっていうことを言うべきでは。今日もあれですね、職員は紙資料ではなくタブレットですよ、行政もみんなそうなっちゃったので。でも役所内はみんなそれが当たり前になっているけど、市役所から出たら、そういう世界にはまだなっていないところが多いということは、やっぱり幹部の皆さんが伝えてって、市民目線で情報が伝わるようにしていただけるとありがたいと思います。</p>
<p>生涯学習推進課長</p>	<p>まさにおっしゃる通りで、私もどちらかというデジタルに疎い方なので、今でも四苦八苦しているのですが、例えば講座の申し込みでも、もうスマホではできないからやめるわって電話をいただいた方は、もうその場で受け付けするといった形で、内々では進めてはいるのですが、やはり何でもスマホで、決済もそうですし、いろんな届け出もスマホという時代があるので、それに慣れていただくって意味で、窓口に来ていただいたときには、職員が電子システムの申し込み方法を教えるといった取り組みはしています。あと、予算のところも、頑張っポスターなどの紙の部分もある程度残して、特に教育部については、その辺は予算がある方だと思っておりますので、当然、副委員長が言われたことも、配慮しながら進めていきますので、もう今すぐ来年から全部電子化っていうわけではございませんので、必要なところに必要な方法で届けるっていうところが、やはり大事なかなと思っておりますので、またそれに向けて、こちらも協力すべきところは努力して参りますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>はい、よろしくをお願いします。 あとはどうでしょうか。</p>
<p>大村委員</p>	<p>すいません。質問ですが、先ほど話題になっていました出前講座、行政の各課で取組まれている講座などの一覧といいますか、どこの課がどういうことをやっているか。そういう情報はどっかで見るができます</p>
<p>生涯学習推進課長</p>	<p>生涯学習推進課長橋本です。そちらについても、生涯学習講座の方で、調査というか、取りまとめていますけれど、やはり各課というか、その担当の意識がないと、答えがこない部分があるので、市役所の中でもそうですし、例えば各公民館とか地区でこんな取組みやっているよっていうのを教えてくださいと言っても、なかなかで報告してこない。そこはもう丁寧をお願いして、いきいきクラブが憩の家でこんな活動しているという報告も、いきいきクラブの総会で説明させていただいて、報告してくださいとお願いはしているのですが、なかなか出てこないのが現状です。あと市役所の方も、先ほど出た食育講演会も広い意味では生涯学習なので、報告してはいただきたいのですが、担当課からは出てこないっていうこともあります。そこは生涯学習推進課の方で、広く考えて、これ出してくださいというような個別のお願いもするパターンもありますけれど、なかなか情報収集というところも、発信の方も難しいですけど、情報収集も難しく、本当は一元管理して、例えばサンライブのホームページを見れば、みよし市全体のそういった講座の内容が全部わかるようにしていきたいというのは、今の計画の中に入れておりましたが、なかなか進んでない状況なので、申し訳ないのですが、そういった生涯学習のとらえ方を、サンライブだけがやるものじゃないということを、市全体</p>

大村委員	<p>に広げていきたいなという思いはございます。</p> <p>はい。ありがとうございます。思いをわかりましたけれども、例えば今日の資料にも本当であれば載せていただくと良いと思いますが、前段としてまず情報が集まってないというご説明をされたのですね。なかなか横串が刺さらないというのは、市全体の課題かなというふうに思いますけども、その辺はちょっと手間暇かかりますけども。サンライブの方がですね、丁寧に各部局に、年間何回かそういう機会があると思いますので、調査をしていただきたいですし、そのデータをどこかに出して、市民が使えるっていう形が一番いいと思いますので、そういう形を作っていただければもう少し進むのかなと思いますので、ぜひ取り組んでいただければと思います。また民間の事業所が行う学習講座なども、その内容によって精査が必要かなと思いますけれども、そういったことも何か見ることができる、そういう情報のハブ的な役割をサンライブさんが担っていただけるとありがたいかなというふうに思いました。それが1つです。</p> <p>それから2つ目に、生涯学習推進課だけのことではないのですが、今日の事業報告で、高校生っていう言葉が、おそらく1つも出てこないじゃないかと思います。デジタルで会議資料データをいただいているので、高校生と検索したのですが、ちょっとしなかったです。中学生向けのものは作られているのですが、高校生向けに何もやってないっていうことなのかどうなのか或いはそれを拾いきれてないだけなのかっていうのはちょっと気になるのですが。その辺はいかがでしょうか</p>
今瀬委員長	<p>そういうことですか、高校は県立なので高校生のためのものをあえてやることは、あまりないかもしれませんが、高校生も応募してもいいよというような、例えば音楽祭は高校生も出ていたと思うので、或いは生涯学習講座ですとか、そういう講座も高校生OKなのか、どういうふうに受講対象を出しているのか、もしかしたら高校生に呼びかけているものがあるかもしれないのですが、その辺はどうですか。</p>
生涯学習推進課長	<p>基本的に高校生、今までみよし市の生涯学習講座が立ち上がったときは、基本的には18歳以上というか、就労者とか勤労者とか、高齢者が対象だったので、今までやってなかったのですが、昨今やはり子どもを含めて、高校生含めた子どもっていうと18歳まで子どもですので、中学生だけじゃなくて、高校生も含めた子どもにも生涯学習講座を展開していくべきだというご意見が、まだ出て始めたところなので、来年度以降は高校生、タイトルに入れるかどうかは別として、高校生でも参加できるようなものを実際やっていこうかっていう話で担当とは話を進めております。なかなか生涯学習の概念から言うと、18歳以上っていうのが今までやっぱ根強くあったものですから。とはいえ、今、こんな時代になってきましたので、子どものうちから、色々なことをいただいて、その学んだことを生かして大人になっていただくっていう流れを作りたいなということを念頭に置いておりますので、またご意見いただきましたので高校生、愛知教授大学とか東海学園大学の方に講師をお願いする大学講座等もありますので、そういったところをターゲットにという話もすでに進めてはいますけど、今後も幅広く、若者というかですね広い意味で高校生以上というか、若い方の対象の講座についても、広げていきたいなという思いがございますので、また今後、講座の内容ですね、見ていただければなと思っております。</p> <p>生涯学習講座に関しては、中学生から参加可、小学生参加可というものもありますけど、基本的な講座は15歳以上、ただし中学生除くとなっているので、たまに定時制高校に通う子が、昼間の講座を受けていることはありますが、平日、学校でやっている時間帯に開催のものが多いので、高校生の参加は少ないです。ただ、今年度だとTOEIC650点目指しましょうといった中学生以上なら参加できる講座もあり、残念ながら人数は少なかったけれども、高校生も参加していました。あとはですね、料理講座、平日にあるけど大丈夫かなと思っていたら、もう受験終わって休めるから休んで来ちゃったと言って受講している高校生もいましたので、高校生にも魅力的な講座を今後開催できたらと思っております。</p> <p>長期休業とかね、土日開催で何か高校生が出るというのかなっていうのもぜひ加えていただく。</p> <p>それから先ほどの情報の管理ですけども、これこそデジタル化を市内一斉で行っているなら、それはやらなきゃいけないでしょ。それこそ庁舎内のことなので、職員の問題じゃないですか。今、教育長と部長はいないけど、経営会議でこうやって一括管理して市民に知らせるから協力しようっていうところから形を作っていけば、大村先生のご提案</p>

	<p>のように、色んな所の情報が得られると。どこが開催しようが市民は関係ないですよ。でも、やりたい講座で何かやりたいことやりたいなっていうところが見つけれられる。それは市民サービスなので、なかなか他課が出してくれないではダメだと思うよ。市役所の問題ですよ。参事もよろしくをお願いしますね。</p>
教育部参事	はい。
大村委員	<p>中学生までね、総合的な学習環境の学習ということで、地域とね、結びついた学習をしてきて、それが高校生になると何の学習機会もないっていうことだと、せっかくこう地域と関わって育ってきているのに、それが何て言いますかね、伸びていかないと非常に残念なことだと思うのですね。学校教育課の方でそれは取り組まないということであれば、やはり社会教育生涯学習でそのプログラムを作っていく必要があるのではないかと考えていますので、ぜひご検討いただきたいです。お隣の豊田市だと、高校生ボランティア講座っていうのを青少年センターでやっていて、最近非常に人気があって、参加者が増えてっていうふうにお聞きします。多分、高校生の地域への理解、或いはその関心っていうのは、今まで小中学校の教育を受けて、高まってきているのではないかと思います。それは、みよし市でもそうじゃないかなというふうに思いますので、ぜひご検討ください。</p>
今瀬委員長	<p>来年の講座に入っているかなと思います。 では、最後に歴史民俗資料館、お願いします。</p>
歴史民俗資料館長	<p>歴史民俗資料館の塚本です。私からは歴史民俗資料館の事業についてご説明させていただきます。48ページをご覧ください。資料館では年4回の企画展を開催しております。番号1から4が、令和7年度中に開催いたしました企画展の入館状況です。歴史や民族、考古といった各分野にわたる展示会を開催しております。4の雛人形展につきましては現在開催中でして、人数が入っておりませんが、現在のところ昨年並みの入館者数がありますのでおそらく、15日までの期間中には1500人から2000人程度の入館者を見込んでおります。いずれの展示会も市内はもちろん市内、県外からも来館者があり、本市について知っていただくきっかけになっていると考えております。次ページの6、7はみよしの歴史や文化を知っていただくため、当課が実施したイベントについてです。日進市と共同で毎年テーマを変えて実施しているバスツアーでございまして、今年度は古民家をめぐりました。6と7は主に子供を対象といたしまして夏休み中に実施しているものです。いずれのイベントも参加者からは好評いただいております。今後とも継続して実施していく予定です。50ページをご覧くださいと思います。こちらは石川家住宅管理事業です。平成26年11月の開館以来、歴史の体感講座というものを開催しております。こちらに関しましては、継続的に実施してございまして、会場と講師の都合上、1回5人程度というコンパクトな講座ではありますが、継続的な参加者もいたり、或いは申し込み開始後すぐに定員に達してしまうというような人気の講座もあつたり、概ね好評いただいておりますので、こちら石川家住宅の雰囲気を生かして、本市の歴史や文化を主催していただくきっかけとして今後も継続して開催していく予定です。説明は以上です。はい。</p>
今瀬委員長	歴史民俗資料館の報告について、ご意見ご質問等ありましたら、お願いします。
近藤委員	<p>ひとついいですか。やっぱり企画展やるにも狭過ぎる。豊田市の博物館は行くと、企画展ばかりやって人がいつも溢れて駐車場も入れない状態。みよしはいつも誰もいない状態で、場所は場所だし、やはり企画展やるにも狭過ぎる。だから早目にやっぱりドカンと、緊縮財政かもしれないけど中心となる建物がないと。やっぱりやれないのかなと。安城なんかもよく地域と一体化してね。博物館施設の隣に土器を収蔵したり、土器を整備しているところが実際に外から見えるようにした大きな文化施設があつたり、やっぱりもうちょっと、みよしのベースとなるところの施設が欲しいなと。やっぱりもうちょっとこう頑張って運動をしていかないと、箱物は検討しているけど、いつまで検討するっていうのが市長さんのあれで、答申出してからもう4、5年経っちゃうのかな。だからあれがつけちゃったけどやっぱりみよしのアイデンティティーだから。やっぱり深田茉莉ちゃんがあればとみんながと盛り上がる。やっぱりそういう施設を、ベースがないとやっぱりここはどうなのかなっていう感じですし、福谷城にしても、やっぱり酒井家忠次の初代、城持ちになった酒井家発祥の地、最初の城主だったところだから、出してももうちょっといいのかなと、そういうみよしの歴史が非常にやっぱりここ</p>

	<p>のところが、いつも同じ意見ですけど弱いなという。だから一生懸命ここでやっても場所が場所だし、ちょっと寂しいなという個人的な何か箱がないとやっぱりできないのかなと思いつつ、ちょっと今、意見を言いましたけど。だから反対に言うと、箱を早めに、もうちょっとしなかつたら市長さんあかんよっていう話をどんどん盛り上げていかんといけないのかなっていう感じを持っています。</p>
今瀬委員長	<p>あり方検討会でご意見いただいたことが、今、まだ引き出しにしまわれているということですね。</p>
歴史民俗資料館長	<p>いただいたご意見は、本当に、むしろあれがあったからこそ、今回の公共施設のあり方等でも機能が大事だということ、ちょっと明記されていますが、あり方検討会にいただけるご意見って本当にありがたかったと思っております。令和8年度の教育方針にもちょっと書かせていただいていますけども、資料館とか文化財の将来活用の構想等も、当然練っていかなければいけないというのは内部にも重々承知しておりますので、なかなか福谷城含め、或いは黒笹の史跡含め、或いは福田にある酒井家住宅の方を今、国の文化財に登録するという方向に動いており、いろんなものがちょっと動いていますけれども、それらをすべて何とかしていきたいというのは、職員としても考えておりますので、そちらの方で、資料館自体の建物っていうのも、すぐにどうこうは、なかなか今のところ動きづらいところではありますが、複合化というところも目指して、構想等をね、立ち上げていきたいなと思っておりますのでまたご意見いただければと思います。ありがとうございます。</p>
今瀬委員長	<p>社会教育委員はそういうことに対して、市に対して教育長に対してのご意見ができるという立場ですので、何なら先生、こういう意見が出ましたってお届けしてもいいですので、私たちはうまく使ってください。館長が頑張っているのはよくわかっていますが、いろいろな問題もあるかと思えます。そういう意味で社会教育委員が協力して、バックアップしたいし、皆さん多分資料館を何とかしたいっていう思いは一緒だと思うので、他の課の部分の内容もそうですけども、そういう立場であるということでもう私たちも協力させていただければと思いますので。はい。ぜひ進めていきましょうか。はい。では各課の報告がありましたが、全体を通して何かありますか。</p>
近藤委員	<p>実はこの資料以外に、いきいきクラブでやっている事業が一元化されてないのですよね。いきいきクラブの方でいろんな講座を行ってまして、それで私、健康吹き矢ですけど、月に2回位、時間があるんですけど、講師料がきちっと決まっていると。あれ福祉課なのかな。長寿介護課ですか、長寿介護課の方から予算や講師の先生が出るし、それから体操の方も講師の先生、講師料がいつも出ているのですね。だから福谷だけでも、大体40人×月3回の120名が大体、みよし市全域からみえています。いきいきクラブの体操は平均20人×3なので、これも60人ぐらい、月々それぐらい体操をやっていると。それからボッチャでもかなりの人数やっていますし、ゲートボールじゃない、忘れちゃいますけど、あれも結構な人数がやっていますし、つい先日はいきいきクラブ体育部が主催するゲートボール大会で、あそこのリサイクルセンターでも人がいっぱい来ているので、実はスポーツ課以外のところで、動いているものがかなりの人数がいるのですよね。予算もそちらの予算で結構出ているので、その辺を両部局間で調整すると、予算も方針も市が全体を早く把握すると、もうちょっと盛り上がっていくと。向こうはいきいきクラブ担当課だし、こっちは教育委員会だし、違いますけど。実際はいきいきクラブ、どの地域も全部合わせると、かなりの人数がスポーツをやっている。もしかしたらスポーツ課の人数よりも、地域の老人会の人数の方が多いのではないかなと、私個人的に思っているのですが。だから、その辺もちょっと役所的に、部局間でもうちょっと共有して何かやれると、もうちょっと全体が良くなるのかなと個人的に全体通して思います。</p>
今瀬委員長	<p>調べていくよね。実は来年度、社会教育連絡協議会西三河支部の研修で、みよし市社会教育委員会の発表を予定していて、その時に市内の生涯学習、生涯スポーツがどの程度進んでいるか、役所内各課、社会福祉協議会、地域の老人クラブ、或いはスポーツクラブ、いろんなところでどんなふうに、みよし市全体で生涯学習を進めているかを、1回整理して、発表内容に盛り込もうかというようなことまで、ご意見いただいて進めているので、そこからちょっとヒントを得て、まとめていくと良いかもしれませんね。よろしいでしょうか。はい。またいつでも何か気が付かれたことがありましたら、この会が終わってからも結構ですので、進言いただければと思います。</p>

<p>スポーツ課副主幹</p>	<p>では次第2協議事項は以上となりまして、次第3その他(1)社会教育委員に周知したいこと相談したいことについて、事務局よりお願いします。スポーツ課の方ですかね。はいどうぞ。</p> <p>【その他(1)社会教育委員に周知したいこと相談したいこと】</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。 続いて最後、次第3その他(3)令和8(2026)年度教育行政方針、第Ⅱ期みよし市教育振興基本計画2035について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>学校教育課副参事</p>	<p>【令和8(2026)年度教育行政方針、第Ⅱ期みよし市教育振興基本計画2035】</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。 最後に、本日発言していない方から、何か一言ずつお願いします。</p>
<p>勝野委員</p>	<p>北部小学校の勝野と申します。今日お話を聞かせていただいて、自分は、すごく思いつきなのですが、例えば体育祭の件ですけど、今年やってよかったなって思ったのは、北部小の150周年のときに、1つ1つの教室ですけど、地域のいきいきクラブの方見えてボッチャをやりました。そしたら子どもも結構楽しく参加して、来年度ちょっと地域クラブみたいな、地域の方が来て、固定ではないですけど、ボッチャを教えてくれる方とかゲートボールとかいろんな地域の方が教えに来てくれます。結構ボッチャって、子どももできるし、おじいちゃんおばあちゃんもできるし、障害を持った方もできるので、例えば、みよし体育祭のときも、例えば体育館の一部を使って、大縄とか、綱ひきとかそういうのに固定しちゃうとなかなか人集め難しいですが、そういうみんなができそうな種目を考えながらやっていけるといいかなと思います。ありがとうございました。</p>
<p>堀本委員</p>	<p>私はこども園で若いお父さんお母さんをよく見て、毎日会っているのですけれども、やっぱり、先ほどの運動会じゃないですけど、そういうことにはもう極力出ない。そういう姿勢が見られます。どうしても若いお母さんたちが今一生懸命働いてみえますし、平日働いて、子供の世話をして、土日にスポーツ大会でお父さんが行ってしまうと、私が1人で子どもを見るのですかと。何かそういうマイナスなことしか、今、若い人たちは思っていない。そういう方が多いです。自分のこども園の役員を決めるときも、力を貸してくださる方も多いんですけど、いや私はやれないですみたいな、そういう方が多いです。やっぱりいろいろ生活も大変でみんな、やってみるので、何かこう楽しみがあるというか、これならやってもいいなって思えることがあるといいのかなとは思っていますので、先ほど聞いて、小さい子供たちで協力できることがあれば、私立の幼稚園とか保育園とか協力させていただけると思うのですけれども、一家庭で協力ってきっと難しいだろうなと思って、うちの園だけかもしれないですけど、そういう方が多いかもしれないかなと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>ありがとうございます。野口さんも一言。</p>
<p>野口委員</p>	<p>私もそのスポーツ祭について少し考えてみまして、昭和21年に始まったということですので、やっぱり時代が変わってきているかなということを感じます。それで、対抗する単位が地区である理由があるのかなって思いました。例えば、いいじゃんまつりのように団体募集をかけて、その各々の団体に出させていただいて、例えばそれが他の地域の団体でもよろしいかなと思いました。ただスポーツを軸として、地域の繋がりを目指しているっていう話を聞きまして、ちょっと私の考えたのは合っていないかなとも思いましたが、ただ、本当に個人的な意見ですけど、例えば雨のために中止になった、何かがあるから中止になったとって、何か絶対にやって欲しいとかその場所を変えてやって欲しい時期を変えてやって欲しいという意見が出てないのは、現状の1つの答えかなと思いますので、何か変えていかないとやっぱり繋がっていかないかもしれないなと思いました。以上です。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>中村先生お願いします。</p>

中村委員	<p>ありがとうございます。スポーツ健康科学部に所属しているので、このスポーツについてはやはりちょっと気になる場所がありまして、スポーツ祭、うちの大学では、毎年大学で学部行事をやっている、スポーツ健康科学部は学部の運動会をやっています。先ほどお話あったボッチャもやっていますし、あと、もともとのスタディオオン走ってオリンピック発祥のバーツと裸足で走る競技をやっています。勝つことが目的ではなくみんなが参加するということでやっているのですけれども、やはり準備がすごく大変で、やめてしまおうという意見ももちろんありましたけれども、実際にやっているとすごく大変ですけど、終わった後はみんな笑顔になっていますし、みんなでダンスをするっていう、その時に一部のチームがダンスを作っておいてその場で教えてみんながそこで踊りを踊ってビデオ撮って、1曲続けて踊り切る、そうすると何か1つになるっていうがあるので、こういったものはしんどい。実際にやっているとしんどいですし、けが人が出たら走っていかなきゃいけないとかそういうのもありますけれども、継続できるというのではないかなとは思っています。はい。</p>
今瀬委員長	<p>すいません最後大村先生、全体通してよろしくお願ひします。</p>
大村委員	<p>今日、非常に皆さん、最後のご意見も含めて、来年度の参考になる意見が把握できてきたと思いますので、ぜひご参考していただきたいと思ひます。僕からはちょっと2点、これも来年度に向けてご検討いただきたいのですが、1つはですね、今年12月に子供性暴力防止法が施行されます。行政、学校とか保育所関係は全部、それを取り組むのですけれども、民間団体は義務ではないのです。でも子供とつき合って一緒に事業やっていると、その認定を受けることができることになっているのです。子供を守るための法律です。ただ、それぞれの団体がその認定を受けるのはかなりきつひ。準備が必要だし、研修を受けなきゃいけない、それから何かあつたときの調査体制を作らなくちゃいけないっていうこともあつて、やっぱり行政の方でそういう団体や事業所をサポートする体制を作つていただかないと、なかなか民間の団体事業所は認定を受けられないじゃないかと思うので、そういった社会教育関係で子供と向き合っている団体や事業者を支える仕組みを、ぜひご検討いただきたいです。それから、もう1つは、今日、スポーツクラブに補助金が出されているということで、なるほどと思つたんですが、社会教育関係団体への補助金支出の場合に、社会教育委員の意見を聞くことが必要だというのが法律で決まっていますので、今日の議題にはないですけども、この会議の場で、そういったご報告を受けて意見を出すということも、ぜひ検討していただきたいと思ひました。以上です。</p>
今瀬委員長	<p>はい、ありがとうございます。今日は本当にいろんなヒントがありまして、すぐできることや、長期計画が必要なことがありましたので、新年度に、第1回会議のときに少しでも今日いただいた意見が反映されていると、皆さん本当に喜ばれると思ひます。よろしくお願ひします。 では議長の任を終えまして、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それではですねすみません最後に教育長より一言ご挨拶いただきます。</p>
教育長	<p>【教育長挨拶】</p>
事務局	<p>教育長、ありがとうございます。以上で令和7年度第2回みよし市教育社会教育委員会を終了いたします。皆様ご起立ください。 一同礼。 ありがとうございました。 (閉会)</p>